

リン資源リサイクル推進協議会

第 8 回リン資源リサイクル事例視察 ～ 家畜排せつ物からのリン資源リサイクルの取組 ～ 視 察 概 要

1. 主催

リン資源リサイクル推進協議会

2. 趣旨

国内で消費するリンの全量を海外からの輸入に頼っているわが国におきまして、産学官の協力のもと関係者が一体となって、オールジャパンのレベルで戦略的かつ総合的にリン資源リサイクルに取り組むことを目的として設立された当協議会の活動も設立から丸 6 年を迎えようとしています。

当協議会では、リン資源リサイクルの実現や普及の推進に寄与することを目的として、シンポジウムや事例視察の開催等様々な活動を実施しており、今回は、リン資源リサイクルの推進に向けて実践的な知識を習得する良い機会として、豚ふん堆肥からのリン回収実証施設、家畜排せつ物を燃料とした発電施設から発生する燃焼灰の活用状況等を見学する「第 8 回リン資源リサイクル事例視察」を実施します。

3. 期間

2014 年 10 月 30 日(木)～31 日(金) 2 日間

4. 視察先概要

① 日立造船株式会社:豚ふん堆肥からのリン回収実証施設((有)小林堆肥センター、宮崎県小林市北西方 7125-37)

日立造船株式会社様は、平成 21 年からリンを含む豚ふん堆肥を炭化することによるリン回収技術の研究開発を開始し、現在、宮崎県小林市において、農林水産省の「平成 25 年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」にて、宮崎大学、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所、熊本大学によるコンソーシアム(代表:日立造船)により、豚ふん堆肥を活用して、既存実証機の処理能力を向上させることや大型化へ向けたデータの取得、安定した長期運転維持など、技術的な実証試験と事業採算性評価、化学肥料原料としての効果評価を行っています。(HP より)

② 南国興産株式会社(宮崎県都城市高城町有水 1941)

南国興産株式会社様では、南九州地域の畜産環境整備の一環として畜ふんを高温で完全燃焼させています。その際の燃焼エネルギーは蒸気や電気エネルギーに換え、工場の稼働エネルギーとして利用しています。また、この時に発生する灰は貴重なリン酸、加里、苦土等の肥料成分の含有量が高く、各種微量元素も含まれています。この燃焼灰を原料として有効利用した肥料は、国内ではもとより海外でも広く使われています。(HP より)

③ みやざきバイオマスリサイクル株式会社(宮崎県児湯郡川南町川南4621-1)

みやざきバイオマスリサイクル株式会社様は、食肉用の鶏(ブロイラー)の飼育羽数が全国第 2 位の宮崎県において、発酵堆肥として利用されてきた鶏ふんの供給が過剰になったことから、環境負荷の低減と畜産業の安定的成長及びバイオマスエネルギーの有効利用等を目指して、地元養鶏農家などと共同で 2003 年に設立されました。同施設では、鶏ふんをボイラーで直接燃焼して蒸気タービンで発電(出力 11,350kW)し、燃焼灰は肥料として土壌改善等に利用されています。(HP 等より)

5. 宿泊先

恵の湯 神の郷温泉 (<http://www.kannogou.com/>)

〒886-0004 宮崎県小林市細野 5273-19 TEL: 0984-23-2006 / FAX: 0984-23-2007

6. 昼食(予定)

1日目:「出の山 いこいの里」(鯉料理 チョウザメ等) <http://www.ikoinoie.jp/menu/index.html>

2日目:「朝霧の里」 <http://tabelog.com/miyazaki/A4503/A450301/45006036/dtlrvwlst/4435999/>

<http://www.ja-kizuna.jp/farm/store/map/detail.php?state=miyazaki&id=230>

※ 現地にて各々オーダー予定

7. 行程表

※ 表中の時間は計画時の予定ですので、交通事情等により変更する場合がございます。

月日(曜)	都市名	時間	交通機関	行動予定	食事
10月30日 (木)	宮崎空港発 ↓ (途中昼食) ↓ 視察先着 視察先発 ↓ JR小林駅 ↓ 宿泊先着	11:00 ↓ ↓ 14:00 16:00 ↓ 16:30 ↓ 17:00	専用バス	<p><参考>羽田(ANA603 発 9:00→着 10:45) 名古屋(ANA341 発 8:15→着 9:35) 伊丹(ANA503 発 9:40→着 10:45) ※ 空港の手荷物受取を出たところで集合します。 JR宮崎駅へ移動(約 8km/20 分) ※ 前泊者、鉄道利用者なし</p> <p>(有)小林堆肥センターへ移動(約 80km/1 時間 30 分) ※ 昼食 1 時間程度「出の山 いこいの里」</p> <p>豚ふん堆肥からのリン回収実証施設(14:00-16:00)</p> <p>視察後、JR 小林駅経由で宿泊先へ (約 20km/1 時間 00 分) 1 日目のみの参加者解散</p> <p>宿泊先にチェックイン 夕食・交流会(18:00~) (恵の湯 神の郷温泉 泊)</p>	× 昼食 夕食
10月31日 (金)	宿泊先発 ↓ JR都城駅着 ↓ 視察先着 視察先発 ↓ (途中昼食) ↓ 視察先着 視察先発 ↓ JR宮崎駅着 JR宮崎駅発 ↓ 宮崎空港着	8:00 ↓ 9:00 ↓ 9:50 11:30 ↓ ↓ 14:00 15:30 ↓ 16:30 16:40 ↓ 17:00	専用バス	<p>ホテルにて朝食後、JR 都城駅経由で南国興産株式会社 へ(約 60km/1 時間 50 分) 2 日目のみの参加者合流</p> <p>南国興産株式会社 視察(10:00-11:30)</p> <p>みやざきバイオマスリサイクル(株)へ移動(約 80km/2 時間 30 分) ※ 昼食 1 時間程度「朝霧の里」</p> <p>みやざきバイオマスリサイクル株式会社 視察 (14:00-15:30)</p> <p>JR宮崎駅(約 55km/1 時間)、宮崎空港(約 8km/20 分)で 解散(宮崎駅下車希望がない場合は直接空港へ) <参考> 特急にちりんシーガイア 24 号 JR 宮崎駅 17:31→博多駅 23:23 宮崎空港 羽田行 SNA62/ANA3762 発 18:25→着 19:55 伊丹行 J ANA510 発 17:40→着 18:50 名古屋行 ANA348 発 19:25→着 20:35</p>	朝食 昼食 ×

※ 表中<参考>の、集合場所まで及び解散場所からの交通手段については事務局調べの内容ですので、各交通機関のご利用に当たっては各自でご確認願います。

8. 連絡先

リン資源リサイクル推進協議会

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 401 号室

(一般社団法人日本有機資源協会内)担当:事務局 菅原 良(すがわら・りょう)

Tel: 03-3297-5618 Fax: 03-3297-5619 E-mail: prpc@jora.jp

当日連絡(菅原個人携帯) : 090-8878-7286

以上